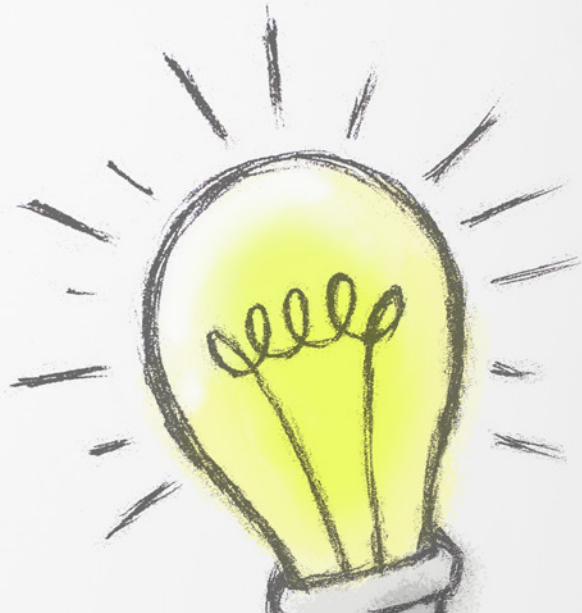




健康価値をどのように事業提供するかを学ぶ！

健康事業開発 コンシェルジュ講座 2020

人々の健康に関与する産業は医療分野だけではなく、広く多岐に渡り、日常生活における健康価値がビジネスになってきました。その健康価値をどのように提供するかをヘルスケアや健康科学に関する知見を身につけ、効果的にプロデュースできる人材の育成が必要です。

当講座では、健康価値を新たな裾野として3つのテーマに分け、それぞれの分野に携わるアカデミアの研究者や民間企業で活躍されている方々を交えてオンライン講座を開催します。商品開発・事業開発を考えるうえでのマインドセット、健康・ウェルネスについての基礎知識を身につけるカリキュラムを構成し、健康をこれからの提供価値として事業や商品、サービスを展開するために必須な知識となる講座としました。

■会 場：オンライン開催（Zoom ウェビナー使用）

■対 象：ウェルネス分野において新規事業創出を目指す方、事業開発を行っている方
企業の研究、事業企画・開発、マーケティング、経営 各部門の方
デザイナー、プロデューサー、設計士
大学や研究機関の研究者、大学院生

■受講料：<テーマ1> 健康事業開発（基礎編） 15,000 円（税抜） ※全4回
<テーマ2> 住環境における健康の視点 15,000 円（税抜） ※全3回
<テーマ3> アンチエイジング・老齡学 15,000 円（税抜） ※全3回

■開講日：各回共通 15:00 ~ 17:30

<テーマ1> 2021年1月29日（金）～2月16日（火）

<テーマ2> 2021年2月25日（木）～3月11日（木）

<テーマ3> 2021年3月2日（火）～3月24日（水） ※詳細は裏面をご覧ください。

■お申込み：株式会社 COPEL コンサルティング 健康事業開発コンシェルジュ講座運営事務局

Email: event@copelcs.jp

件名を「コンシェルジュ講座申込み」とし、お名前・ご所属・役職・連絡先アドレスをご記入のうえ、メールでお手続きください。

健康事業開発コンシェルジュ講座 2020 カリキュラム

テーマ1：健康事業開発（基礎編）

1

1月29日（金） 15:00～17:30

健康事業における価値創出

（ウェルネス・エコノミクスとマイクロ・インシュアランス）

並木 幸久

九州大学グローバルイノベーションセンター 客員教授
(株) 国際総合知財ホールディングス 代表取締役社長



【企業事例】 男性用化粧品の新たな文化を創造する

八木 理恵

株式会社 STYLEC 代表取締役、国際イメージコンサルタント



2

2月2日（火） 15:00～17:30

デジタルヘルスの潮流

南雲 俊一郎

株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門
ヘルスケア・事業創造グループ担当部長／プリンシパル



【企業事例】 休養の潜在市場

片野 秀樹

一般社団法人 日本リカバリー協会 代表理事



3

2月8日（月） 15:00～17:30

人のリズムの真髄は太陽にあり ～生体リズムと睡眠の潮流～

若村 智子

京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻 教授



【取組事例】 暮らしの普遍性

辻 明俊

法相宗大本山 興福寺 執事&境内管理室長



4

2月16日（火） 15:00～17:30

産学連携によるイノベーションの創出

坂井 貴行

神戸大学バリュースクール 教授



【企業事例】 産学連携（仮題）

三寺 歩

ミツフジ株式会社 代表取締役

テーマ2：住環境における健康の視点

1

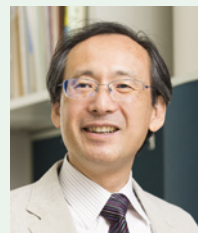
2月25日（木） 15:00～17:30

住まいの温熱・空気環境改善による健康寿命の延伸

伊香賀 俊治 慶應義塾大学理工学部 システムデザイン工学科 教授

既に海外では健康が住宅政策の一つになっており、今後我が国でも対策が進む。ここにウェルネスビジネスの商機があるだろう。

住宅の空気環境と健康の関係を研究し、スマートウェルネス住宅推進調査委員会幹事でもあることから、その関係性と最新の事例を紹介する。



【企業事例】空気環境をきれいにする生活習慣を売る（仮題）

荻野 文敏 株式会社ダスキン 訪販グループ 戦略本部 開発研究所 基礎研究室 室長

2

3月3日（水） 15:00～17:30

いつまでも自宅で暮らすための、建築のユニバーサルデザイン

後藤 義明 岡山理科大学工学部建築学科 教授

超高齢社会において、自立生活によって健康寿命を延伸するために、住まいがトリガーとなる。

長年ユニバーサルデザインに関する研究開発に取り組んできた成果から、これからの住まい作りについて示唆する。



【企業事例】住めば住むほど幸せ住まい

河崎 由美子 積水ハウス株式会社 住生活研究所長、一級建築士

「わが家を世界一幸せな場所にする。」このビジョンに向け、『健康』『つながり』『学び』など、住めば住むほど幸せ住まいの研究を行っています。『健康』を中心にこれからの住まいが提供する「幸せ」について紹介する。



3

3月11日（木） 15:00～17:30

木質住環境が人にもたらす効果

恒次 祐子 東京大学大学院 農学生命科学研究科生物材料科学専攻 准教授

我が国では伝統的に建築空間に木材が多く用いられてきたが、そのことによる人への効果はまだよく分かっていない。木造建築が見直されている今、日本人に馴染みのある木質の住環境には、リラックス効果や健康増進効果があることが解明され始めた。効果検証研究による最新データについて解説する。



【企業事例】睡眠 × 環境 × IoT

藤田 貢 西川株式会社 品質管理部 部長

人が健康に生きていくうえで欠かすことのできない睡眠。より良い睡眠を得るために睡眠環境を整える事が大切なことは知られているが、ここにIoTが加わると……。取り組み事例を交えて紹介する。



1

3月2日（火） 15:00～17:30

ジェロントロジー（老齡学）からみた長寿社会の課題と可能性

秋山 弘子 東京大学高齢社会総合研究機構 客員教授

長寿社会における個人、社会、産業の課題と可能性を全国高齢者調査、まちづくりの社会実験、オープンイノベーションの場のひとつである「鎌倉リビングラボ」などの取り組みを紹介して解説する。



【企業事例】長寿を喜べる KAITEKI 社会創造

神山 祥子 株式会社三菱ケミカルホールディングス 経営戦略部門
ヘルスケア戦略室 担当部長

超高齢社会は、本当に社会課題でしょうか？長寿を喜べない社会こそが問題なのではないでしょうか？問題の原因の一つであるフレイルを予防するには、若いころから運動を日常化することが必要である。頭では理解していても、運動を実施していない人の行動変容は容易ではない。姿勢や動きをVRにて可視化することで、自律的に健康行動を変容・定着させる“所作美”プログラムを紹介する。



2

3月8日（月） 15:00～17:30

食と栄養による健康と予防医学の「傾向と対策」

矢澤 一良 早稲田大学ナノ・ライフ創新研究機構
規範科学総合研究所ヘルスフード科学部門 部門長

健康維持と予防医学をサポートする上で食と栄養は欠かせない介入である。いかに食べるのか、何を食べるのかについての最新研究情報を理解しておく必要がある。ヘルスフード（サプリメントを含む）の有効利用方法とその開発について、事例に基づき紹介する。



【企業事例】アミノ酸のはたらきで健康寿命を延ばすことに貢献

栗原 重一 味の素株式会社 栄養・加工食品事業部ニュートリションケアグループ
マネージャー

昨今の新型コロナウイルスの流行で免疫機能に注目が集まっている。この免疫機能も加齢に伴って低下する。味の素 KK ではアミノ酸のシスチン・テアニンに免疫機能を維持する効果を見出し、これまでに基礎から臨床まで研究を進めてきた。今回はそれらについて紹介する。



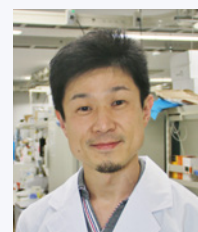
3

3月24日（水） 15:00～17:30

ウェルネス事業開発とゲノム編集

西田 敬二 神戸大学 先端バイオ工学研究センター
大学院科学技術イノベーション研究科教授

ゲノム編集の研究から健康や食品、革新的なマイクロバイオーム治療の開発について解説する。最新のゲノム編集の研究・技術が、どのように未来に繋がり、どのように高齢社会に有機的に活用されていくのかを解説する。



【企業事例】遺伝子分析を活用した運動事業の構想

位高 駿夫 株式会社ハイクラス 代表取締役／東海大学体育学部 非常勤講師

健康増進に運動が不可欠であることに異論を唱える人はいないが、実施法の科学的なエビデンスは十分に周知されていない。最先端では、遺伝子分析を運動指導に活用しようとする取り組みも行われており、その可能性と現状を解説する。

